



えいぜん通信@北陸

夏号

Vol. 57

避難所となった輪島地方合同庁舎

自衛隊の拠点となった穴水地方合同庁舎

北陸地方整備局能登復興事務所が入居した
七尾地方合同庁舎

北陸地方整備局能登港湾空港復興推進室が入居した
七尾港湾合同庁舎

Contents

トピックス

北陸地方整備局の能登半島地震での災害対応

【北陸地方整備局 営繕部 計画課】 2

新任幹部職員の紹介

【石川県、新潟市】 3

新規採用職員の紹介

【北陸地方整備局、富山県、石川県】 5

保全だより

初めての保全業務

【北陸地方整備局 営繕部 保全指導・監督室】
. 8

整備局からのお知らせ

公共建築に関するお役立ち情報

【北陸地方整備局 営繕部】 9

北陸地方整備局の能登半島地震での災害対応

(北陸地方整備局 営繕部 計画課)

令和6年能登半島地震において被災されたすべての方にお見舞い申し上げます。

また、新潟県、富山県、石川県、新潟市の皆様におかれましては、災害対応、復旧・復興にお忙しい中、発刊にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

本号では、北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所の能登半島地震への対応について、紹介をさせていただきます。

1 令和6年能登半島地震の概要

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ約15kmでマグニチュード(M)7.6の地震が発生しました。この地震により石川県輪島市や志賀町で最大震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測しています。また、日本海沿岸を中心に津波が観測され、能登半島等の広い地域で浸水が認められています。現地での調査によれば、石川県能登町や珠洲市で4m以上の津波の浸水高、新潟県上越市で5m以上の遡上高が確認されています。さらに、石川県、富山県、新潟県の広い範囲で液状化による被害が発生しました。

気象庁では、今回の地震及び令和2年12月以降の一連の地震活動について、名称を「令和6年能登半島地震」と定めました。

2 営繕部、金沢営繕事務所の対応

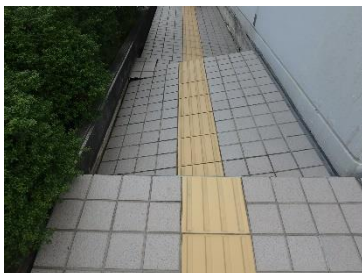
北陸地方整備局では、地震の発生を受け、令和6年1月1日16時10分に非常体制を発令するとともに、災害対策本部を設置し、災害対応にあたりました。

営繕部、金沢営繕事務所においても北陸地方整備局管内(新潟県、富山県、石川県)の官庁施設の被災状況の把握、施設管理者から被害報告のあった施設への現地調査、現地での応急対応や施設使用に係る技術的な助言等を行いました。

今回の地震においては、官庁施設の建物自体の被害は軽微なものが主でしたが、液状化による敷地の陥没、敷地内の給排水管の破断など外構での被害が多く見られました。

発災の直後から、施設管理者である各省庁より現地調査の要請を多くいただきましたが、一部地域では、道路状況等により、直ちに対応することが困難な状況でした。そのため、施設管理者自らでも実施可能な建物の傾斜測定方法等を各省庁へ通知しました。そこから得られる傾き等の定量的な被災情報や被災箇所の写真を基に、施設の安全性に係る技術的な助言を行うことで、現地庁に安心感を与えられたと思います。また、その後の現地調査も効率的に行うことができました。

このほか、地震後に施設を安全に利用するための留意事項や各所修繕に当たっての留意点などについて、各省庁へ情報提供を行いました。



令和6年能登半島地震における官庁施設、現場の被災状況

新任幹部職員の紹介

**石川県土木部次長兼営繕課長 渡邊 学**

令和6年4月に石川県営繕課長に就任した渡邊です。

前職（建築住宅課長）在任中の本年1月1日に能登半島地震が発生しました。石川県では、その直後から、応急危険度判定を実施し、また、災害救助法に基づき建設型応急仮設住宅、賃貸型応急住宅（みなし仮設）の供給、応急修理の実施等に取り組んでまいりました。これらの業務実施にあたり、国や全国の自治体から応援職員の派遣を始め多くのご支援をいただいております。改めて深くお礼申し上げます。

4月から営繕課に異動となりましたが、ここでは被災した県有施設の復旧事業を行っています。営繕課にも全国から応援職員を派遣いただき重ねてお礼申し上げます。

県有施設の復旧事業は、構造体に被害が大きかったと思われる施設について、被災度区分判定を実施し、その結果を踏まえ施設管理者の方針に基づき順次実施設計、改修等の工事を進めてまいります。

今年度は災害復旧事業のほか、金沢城二の丸御殿復元整備工事の新規着工なども予定されており、県民の期待に応えられるようしっかりと取り組んでまいります。皆様には引き続きご支援とご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新任幹部職員の紹介



新潟市建築部公共建築課長 岸本 秀也

令和6年4月1日付けで公共建築課長に就任いたしました岸本です。

新潟市では現在、本年1月に発生した能登半島地震からの復旧・復興に向け各施策を進めています。当課は被災住宅の修理支援を担っており、被災された市民の皆様に1日も早く平穏な日常を取り戻していただけるよう、全力で取り組んでいます。

公共工事においては、品質確保と施設の長寿命化の推進に努めるとともに、省エネルギー化を図り、温室効果ガスの削減に努めていきたいと考えております。皆様方のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

新 人 職 員 の 紹 介

**北陸地方整備局営繕部計画課 佐久間 修人**

令和6年4月に建築職として入省しました。

現在は、営繕事業の計画や予算管理、日程調整などの業務を学ぶべく、先輩方を補佐する業務を務めております。

初めての職場は、未経験の事ばかりで、勉強の日々となっております。

備えるべき知識やマナーなどが多いですが、先輩方からのご指導や同期の方々とのつながりを活かし、また、業務の幅を広げるための資格や、建築知識の習得、業務の理解に励み、微力ながら、地域の人々に還元できるように務めたいと思います。

北陸地方整備局営繕部整備課 本間 響

令和6年4月に建築職として入省しました。

まだ入省して日が浅く、初めての経験ばかりですが、日々新鮮な気持ちで業務に取り組んでいます。

日々の業務の中で、営繕の専門用語やCADの操作方法など、分からないことも多くありますが、周りの先輩職員の方々に教えていただきながら、日々勉強しています。

少しでも早く貢献できるように、様々な業務に積極的に挑戦して、日々成長できるように努力を続けていこうと思います。

よろしく申し上げます。



新 人 職 員 の 紹 介



北陸地方整備局営繕部整備課 山田 清智

令和6年4月に電気職として入省しました。

新しい環境でのスタートにさまざまな不安がありましたが、周りの先輩職員の方々に助けをいただきながら仕事に取り組んでいます。

図面や基準書を読むと、今まで見聞きしたことのない専門用語や記号を多く目の当たりにするとともに、官庁施設を整備するうえで必要となる情報量の膨大さに日々圧倒されています。

電気設備を含めて幅広く知識を深めて、地域社会に貢献できるように業務に励みたいと思います。

よろしくお願ひします。

富山県土木部営繕課 山本 舜也

令和6年4月1日付で入庁しました土木部営繕課の山本です。

県有施設を対象とした設備工事の設計・工事監理業務を担当しています。

前職では、機械設備の施工管理に携わっていました。すでに現場経験を生かせることができ、無駄な経験ではなかったと感じています。

毎日新しいことの連続で先輩方に助けをいただきながら業務を進めています。いち早く一人で業務をこなせるように日々努力を重ねて、多くの知識を吸収していきます。



新 人 職 員 の 紹 介

**石川県土木部営繕課 佐久間 佳祐**

令和6年4月に石川県の営繕課、設備第一グループに配属となりました。入職直前まで、業種の異なる民間から公務員への転身ということに、少なからず不安を抱いていたのですが、蓋を開けてみると全く問題なく、今は素敵な職場に恵まれたことにとっても感謝しています。

今の私には震災対応で、毎日膨大な業務をこなす先輩職員の背中はとても大きく見えます。まだわからないことも多いですが、その後ろ姿に早く追いつけるよう専門知識の理解を深め、業務を遂行していきたいです。

初めての保全業務

(北陸地方整備局 営繕部 保全指導・監督室)

保全とは、建築物の当初の性能の維持・確保のほか、現行法令や社会的・経済的な要請として必要とされる性能を維持・確保できるように建築物を良好な状態に保つことをいいます。

今回は初めて施設保全責任者、保全担当者になられた方へ、保全に関する情報が掲載されている国土交通省のホームページやパンフレットやを紹介します。

1 官庁施設の保全(国土交通省ホームページ)



https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_000046.html

関係法令、基準類、パンフレット等保全に関する各種情報が掲載されています。

2 施設保全責任者のための庁施設の保全 (パンフレット)

「官庁施設の保全」とは、官庁施設が完成してから解体されるまでの間、その性能を性能を良好な状態に保つほか、

社会・経済的に必要とされる性能水準を確保し、保持し続けるための取組をいいます。



<https://www.mlit.go.jp/gobuild/content/001734294.pdf>

3 国家機関の建築物の点検 (パンフレット)

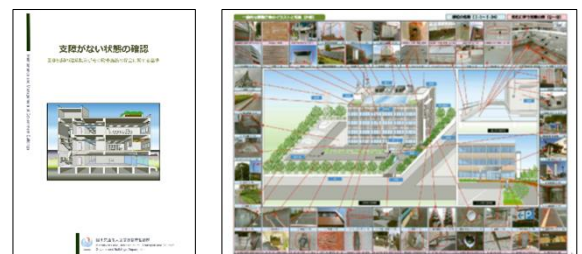
庁舎の維持管理に必要な点検一覧が記載されています。建築物の用途や規模等により様々な点検が義務付けられています。



<https://www.mlit.go.jp/gobuild/content/001734296.pdf>

4 支障がない状態の確認 (パンフレット)

すべての国家機関の建築物等において、敷地及び建築物の各部等に応じ、支障がない状態を確認することと定められています。



https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000042.html

公共建築に関するお役立ち情報

(北陸地方整備局 営繕部)

■ 公共建築相談窓口

北陸地方整備局営繕部では、公共建築に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるための「公共建築相談窓口」を設置しています。

この窓口では、公共建築工事の円滑な施工確保の取組として、公共建築工事の予定価格設定等に関する相談の受付も行っています。

なお、国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」を官庁営繕部ホームページに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild tk6 000063.html>



- 北陸地方整備局営繕部計画課
TEL: 025-280-8880 (内線5153)
FAX: 025-370-6504
- 北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課
TEL: 076-263-4585
FAX: 076-231-6369

e-mail: pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp

メールでのお問い合わせの場合は、機関名、会社名、担当者、連絡先等をご記入ください。

■ 出前講座

北陸地方整備局では、行政の透明性の向上と国民との対話を重視したコミュニケーション型国土行政の推進に向けた種々の取り組みのひとつとして、職員が直接、国土交通省が行う事業や施策について話をさせていただくとともに、地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき、行政にも反映させていくため

に、『出前講座』を実施しています。

『出前講座』の利用方法や講座のメニュー等を下記ホームページに掲載しています。

お気軽にご相談ください。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>



出前講座出張例：

- ・ 営繕工事における最近の動向について
- ・ 営繕工事における生産性向上技術の更なる活用拡大 など

■ 保全マネジメントシステム (BIMMS)

導入・活用事例集

国土交通省では、市町村による公共建築物の個別施設計画策定を支援するため、個別施設計画を容易に作成できるBIMMSについて、地方公共団体が導入時に検討した内容や、活用状況をまとめた事例集を官庁営繕部ホームページに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild tk3 000025.html>



■ 施工管理技術検定試験合格証明書の

申請手続き

北陸地方整備局営繕部は、新潟県、富山県及び石川県在住の方の下表の資格について、再交付・書き換え窓口となっています。

合格証明書の申請手続きについて、北陸地方整備局営繕部ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

資格名	受付担当課	電話番号
建築施工管理技士	営繕部 計画課	025-280-8880 (代表)
電気工事施工管理技士		
管工事施工管理技士		

* 英文証明書の発行も行っております。

各機関のホームページ

新潟県 <https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/eizen/>



富山県 <https://www.pref.toyama.jp/1508/kensei/kenseiunei/kensei/soshiki/15/1508.html>



石川県 <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/index.html>



新潟市 <https://www.city.niigata.lg.jp/business/doboku/kokyokenchiku/index.html>



北陸地方整備局営繕部 <https://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



北陸地方整備局金沢営繕事務所 <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>



編集：北陸地方整備局 営繕部

TEL 025-280-8880（代表） FAX 025-370-6504

北陸地方整備局 金沢営繕事務所

TEL 076-263-4585（代表） FAX 076-231-6369

えいぜん通信@北陸 2024年(令和6年)6月発行

『えいぜん通信@北陸』は、北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、新潟市での公共建築に関する取り組みなどについて情報発信をしています。